

令和6年度 事業報告

1. 法人全体の運営報告

利用者の意向や希望を尊重しながら、安全で快適に利用できるよう配慮したサービスの提供に全職員が積極的に努めた。

- ・管理者を中心として、利用者それぞれの能力や個性、ニーズに応じた支援ができるよう、サービスの質の向上に努めた。
- ・魅力ある作業所であるため、作業の目的意識づけや、工夫を凝らした行事を実施するなどした。
- ・法令を遵守し、健全な法人運営に努め、信頼される法人を目指した。
- ・利用者が健康的な日常を送れるよう、感染症等には引き続き注意した。

2. 法人全体の目標達成のためにとった具体的行動

目標 ① サービスの質の向上を目指す。

- ・まず利用者の意向を正確に把握するように努めた。意見を聞く体制づくりのため、支援員の主観や価値観ではなく、利用者のニーズを把握して対応するよう心掛けた。
- ・苦情の撲滅を図った結果、取り上げるべき苦情は無かった。

目標 ② 安全で快適な環境づくりをする。

- ・常に安全や清潔、快適を考慮した環境づくりに配慮するため事故防止委員会で検討した。
- ・感染症に注意し、感染リスクの低減に努めるため、感染症防止委員会で検討した。

目標 ③ リスクマネジメントを活性化する。

- ・災害や事故時の対応を、マニュアルの整備と訓練により対策した。
マニュアル類は職員が参加して作成した。
- ・情報漏洩対策として、安全性の高いクラウドの活用や、研修により職員の意識の向上を図った。
- ・内部監査を実施し、法人全体のコンプライアンス遵守体制を示した。

目標 ④ 職員の育成

- ・研修や講習に積極的に参加した。
- ・研修参加時の勤務調整や参加費の援助を行う旨周知した。

目標 ⑤ 専門委員会の活性化と維持

- ・活発な活動が維持できた。

3. 各事業所での目標

倉敷作業所：「利用者数の増加」R7年度から3名増員できた。

令和6年度 事業報告

「工賃アップ」月額18,000円以上が達成できた。

水島作業所：「きめ細かい支援に力を注ぐ」支援計画をより深く考察し実行できた。

児島作業所：「安定したサービスと支援の提供を目指す」職員の入れ替わりはあったが、最終的に落ち着き、利用者の信頼感取り戻せ、出席率も向上した。

玉島作業所：「利用者数の増加」1名の増員ができた。

「工賃の安定」残念ながら5年度より下がったが、これで安定しそうだ。

洲崎作業所：「通所が楽しくなるように努める」アンケートにより利用者の意識を把握でき、休日開所等に生かした。

また、各事業所共通の目標として、利用者数の目標も設定したが達成できなかった。（令和7年度期首時点で3名マイナス）

目標	令和6年度期末	93名、	令和7年度期首	96名
実数	〃	88名、	〃	93名

4. 地域における公益的な行動

- ・職場体験の受け入れ
- ・市や福祉団体が主催する行事に積極的に参加した。
- ・支援学校の児童生徒が望む図書を寄付すべく、希望の調査をし、令和7年度の事業へと引き継ぐことにした。

5. 研修は以下のとおり達成できた。

- ・管理者会議と研修 毎月
- ・全職員研修 年1回
- ・委員会による研修 4委員会を随時開催
- ・新職員研修 採用事業所でのOJT、他事業所で8日間程度、本部での座学

6. 主な法人行事は予定通り実施できた。

- ・理事会 2月：事業計画、補正予算、次年度予算案等
5～6月：決算案、審議事項他
- ・監査 5月：会計や運営に関する監査
- ・評議員会 6月：決算、審議事項他

7. 施設整備

- ・水島事業所の新築は予定通り完成し、現在運用中。
- ・倉敷事業所の駐車場整備ができた。

以上

令和7年6月5日 令和7年度 第1回理事会